2026年6月3日（水）　令和8年度 芸術鑑賞

毎年恒例の芸術鑑賞が開催されました。今年度は「寄席」です。影向舎（ようごうしゃ）の皆様に、「寄席とお囃子の解説」、「落語」、「上方落語」、「大神楽曲芸」を上演していただきました。生徒の皆さんの反応がとても良く、楽しんでいる様子で、演者の方々もそれに答えているようで、生の舞台の良さを感じられた、良い時間になりました。

※寄席とは

落語を中心に様々な演芸が行われる場所で、「よせ」と読む。江戸中期に生まれ、幕末には数百軒にまで増えた。現在の「定席」（常設の寄席）は東京に４か所、大阪と兵庫に各１か所あり、一年中落語を楽しむことができる。

【上方落語　　桂 九ノ一 氏】

【大神楽曲芸　　柳貴家 幸之介 氏】

ステージにあがった生徒も数名おり、落語のしぐさ体験（お蕎麦を食べるしぐさ）や、曲芸のお手伝い（役者の傘に向かってボールを投げる等）をさせていただきました。体験者は貴重な経験となり、見ている方も楽しい時間でした。

【落語のしぐさ体験（お蕎麦を食べるしぐさ）でステージに上がった生徒３名】